

平成17年6月29日

各 位

会 社 名 株式会社エンプラス  
代 表 者 名 代表取締役社長 杉本 敏昭  
(コード番号 6961 東証第一部)  
問 合 わ せ 先 役 職 名 取締役経営企画部長  
氏 名 酒 井 崇  
(TEL 048-253-3131)

## グローバル事業戦略の再構築に関するお知らせ

当社は、昨年策定した3ヵ年中期経営計画に基づき、プラスチック精密微細加工における世界No.1ブランドを実現すべく、グループの総合力を結集し事業運営を行っております。

中期経営計画の最大のポイントは「強い基幹事業を持ったエンプラス本社」、「事業先鋭化を進めたグループ会社群」からなるエンプラスグループを構築することにあります。この度、その具体的な施策として、国内工場及び海外製造販売子会社の設立、子会社2社の解散を含む、下記のグローバル事業戦略の再構築を実施することを決定しましたのでお知らせします。

### 記

#### 1. グローバル事業戦略再構築の概要

1. エンブラ事業の改革
2. プラスチックオプティクス事業の拡充・強化
3. 東南アジア拠点の戦略的機能強化
4. 子会社2社の解散

#### 2. グローバル事業戦略再構築の背景

ますます激しさを増すグローバル・ボーダレスレベルの競争を当社が勝ち抜くためには、事業分野の盛衰を正しく予測し、先行分野への重点投資、既存分野へは選択的投資を行うことにより、グループとして選択と集中を進め、より強固な経営基盤を築いていくことが最重要の経営課題です。

この考えのもと、当社の基幹事業と位置付けるエンブラ事業、プラスチックオプティクス事業は継続的重点投資を実施し、より高付加価値・高収益構造への改革を促進します。

また、地域特性、市場特性に応じたグローバルマーケティング体制を構築することにより、グループとして市場変化、環境変化に柔軟に対応できる体制作りを進めていきます。

一方、技術先行性、市場成長性に乏しい事業分野については、早期に撤退を行うことにより、グループ経営資源の最適配分を図ってまいります。

## ・諸施策の概要

### 1. エンブラ事業の改革

#### (1) 内容

栃木県鹿沼市内にある鹿沼工業団地内に金型製作から製品成形まで一貫した先進のプラスチックギヤ専門工場を新設することにより、国内生産体制のさらなる拡充と高収益事業体制の構築を図ります。また、この新工場を世界に誇るギヤセンターと位置付け、グローバル事業戦略をさらに推し進めてまいります。

#### (2) 新工場の概要

工場名称	鹿沼工場
建設場所	栃木県鹿沼市さつき町7番2
稼働時期	平成17年7月
敷地面積	約33,000m <sup>2</sup>
製造品目	自動車・電機・OA向けプラスチックギヤ及び射出成形金型
総投資額	約32億円

#### (3) その他

鹿沼工場の新設に伴い、プラスチックオプティクス事業の主力工場である栃木工場(栃木県矢板市)は「矢板工場」に名称変更、鹿沼市にある子会社の株式会社エンプラス鹿沼は「エンプラス精機」に商号を変更いたします。

### 2. プラスチックオプティクス事業の拡充・強化

#### (1) 内容

当社は、オプト関連企業の進出が進む中国華南地域において、香港にある販売子会社である Enplas(Hong Kong) Limited を中心に営業活動を展開しております。このたび、華南地域におけるオプト関連業界の動向をタイムリーに把握し、グループ内に情報発信することによって、プラスチックオプティクス事業の更なる拡充を図ることを目的として、広東省広州市に Enplas(Hong Kong) Limited の中国駐在員事務所を設立することにいたしました。

#### (2) 設立事務所の概要

事務所名	恩博斯(香港)有限公司広州代表処
所長氏名	小倉 高志
設立場所	広州市番禺区

設立時期 平成17年8月(予定)  
人 員 7人(予定)

### 3. 東南アジア拠点の戦略的機能強化

生産拠点及び市場としてますます戦略的重要度を増す東南アジア地域において、当社の事業基盤をさらに強化し、地域特性、市場特性に応じた製造・販売体制を構築するために、当社シンガポール子会社の東南アジア統括機能の強化を実施いたします。

#### (1) 内容

2003年6月にシンガポールの製造販売子会社 Enplas Hi-Tech(Singapore)Pte.Ltd.に東南アジアの統括管理本部機能を持たせることとし、社名変更及び本社移転を実施いたしましたが、さらにその統括機能を強化するために、既に今年4月より従来のエンブラ事業、プラスチック光学事業の製造販売に加え、半導体事業の販売を開始いたしました。また、この度、新たにベトナムに Enplas Hi-Tech(Singapore)Pte.Ltd.の製造販売子会社を新設することを決定いたしました。この新会社では、今後拡大が予想されるベトナム市場において、当社の主力製品であるエンブラ事業の電子機器部品等の製造販売を行うとともに、プラスチック光学事業においても、レンズモジュールの組立工程を当社のコア技術と位置付け、社内生産を行うことにより高品質かつ安定的な量産供給基盤の強化を図ってまいります。

#### (2) 設立する子会社の概要

商 号 Enplas(Vietnam)Co.,Ltd.  
所 在 地 ハノイ近郊  
資 本 金 200 百万円(予定)

#### (3) 今後の見通し

当該子会社は連結対象子会社となりますが、見通しにつきましては現段階では正確な数字を見込めておりません。今後細部を確定し次第ご報告いたします。

### 4. 子会社2社の解散

当社は平成17年6月29日開催の取締役会において、当社の子会社である株式会社エンプラス光学及び Enplas(Korea),Inc.を解散することを決定しました。

#### (1) 当該子会社の概要

(株式会社エンプラス光学)

商 号 株式会社エンプラス光学  
本店所在地 埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目15番地1 小島 MN ビル4階

代表者氏名	星 輝男
事業内容	オプト事業
資本金	496百万円
株主構成	当社100%
設立年月	昭和37年2月

(Enplas(Korea),Inc.)

商号	Enplas(Korea),Inc.
本店所在地	1603 Renaissance Tower Bldg 456,Gongdeok-dong Mapo-ku,Seoul, 121-020,Korea
代表者氏名	古谷 実
事業内容	半導体機器事業、液晶事業
資本金	3億ウォン
株主構成	当社100%
設立年月	昭和62年8月

## (2) 解散の理由

エンプラスオプティクスは、主力のプロジェクションテレビ用レンズユニットの受注販売が低迷し、中長期的に黒字化する目途がたたないと判断し、グループにおける選択と集中を進めるため解散することといたしました。

韓国の子会社である Enplas(Korea),Inc.は、半導体関係のテストソケットの販売会社でありませんが、前期からは営業活動を中止し、韓国情報の発信拠点として機能しておりました。今回、これらの情報取得が日本国内からの対応でも可能と判断し、当該子会社を解散することといたしました。

## (3) 解散の日程

両社とも平成17年9月までに清算終了の見込であります。

## (4) 今後の見通し

エンプラスオプティクスの清算に伴い、平成18年3月期決算において8億円程度の特別損失の発生が、また、Enplas(Korea),Inc.の清算に伴い1億円程度の特別利益の発生がそれぞれ見込まれますが、詳細は現在精査中です。今後確定し次第ご報告いたします。

以上